



2026年 市 病害虫防除暦



JA中野市園芸課

*安全・安心で品質の良い干柿をつくるため、薬剤防除を徹底し、きれいな原料柿を生産しましょう。

*薬剤散布は散布ムラのないように実施しましょう。

散布日	散布時期	散布薬剤 (水100ℓ当り)	収穫前 使用時期	使用 回数 (以 内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注意事項
月 日	発芽前 (3月下旬 ～ 4月上旬)	① 水(90ℓ) 展着剤(ハイテンパワー) 石灰硫黄合剤 10mℓ 10ℓ	発芽前	—	300	(黒星病) 越冬病害虫 カイガラムシ類	① 石灰硫黄合剤は隣接するビニールハウスにかかるないようにする。 ② 【代替】石灰硫黄合剤に替えてスプレーオイル 50 倍でも良い。
月 日	特別防除 カイガラムシ 多発園	※樹幹塗布 (水:アルバリン=1:1) 水 アルバリン顆粒水溶剤 20mℓ 20g	発芽前～ 発芽期	1回	(1樹) 20g ～ 40g	コナカイガラムシ類	① 樹幹塗布は主幹部の粗皮を 30cm 以上削り、塗布する。 直径 20cm 以上の樹は 40g 塗布。
月 日	5月 上旬	② 展着剤(ハイテンパワー) サムコルフロアブル 10 10mℓ 20mℓ	前日	3回	400	ハマキムシ類 カキノヘタムシガ ケムシ類 ハスモンヨトウ	① カキノキマダラメイガ・ヒメコスカシバの発生がある場合は、ガットサイド S の 1.5 倍液(45日前、2回)を主幹部・主枝及び亜主枝の分枝部に 100 ～1,000ml/樹 塗布する。
月 日	6月 上旬	③ 展着剤(ハイテンパワー) キノンドー顆粒水和剤 ダイアジノン水和剤 34 10mℓ 100g 100g	14日前 45日前	5回 4回	500	落葉病、炭疽病 うどんこ病 アメリカシロヒトリ オオワタコナカイガラムシ若齢幼虫、ハマキムシ類	
月 日	6月 中下旬 <u>落葉病重点防除</u>	④ 展着剤(ハイテンパワー) モスピラン顆粒水溶剤 オーソサイド水和剤 80 10mℓ 25g 100g	前日 7日前	3回 5回	500	落葉病、炭疽病 すす点病 アザミウマ類 カイガラムシ類 カキノヘタムシガ カメムシ類	
月 日	7月 上中旬	⑤ 展着剤(ハイテンパワー) スコア顆粒水和剤 10mℓ 33g	前日	3回	500	落葉病 炭疽病 うどんこ病	① 【すす点病対策】スコア顆粒水和剤に代えてベルクート水和剤 1,500 倍(14 日前、3 回)を使用する。
月 日	7月 下旬 <u>落葉病重点防除</u>	⑥ 展着剤(ハイテンパワー) オーソサイド水和剤 80 オリオン水和剤 40 10mℓ 100g 100g	7日前 21日前	5回 1回	500	落葉病、炭疽病 すす点病 アザミウマ類 ハマキムシ類 カイガラムシ類 <u>カキノヘタムシガ</u> ケムシ類、イラガ類 カキノヒメヨコバイ	① 【カキノヘタムシガ対策】オリオン水和剤 40 に代えて、サムコルフロアブル 10 の 5,000 倍(前日、3回)を散布する。
月 日	8月 上中旬	⑦ 展着剤(ハイテンパワー) ダントツ水溶剤 トップジン M 水和剤 10mℓ 50g 100g	7日前 前日	3回 6回	500	落葉病、炭疽病 うどんこ病 アザミウマ類 コナカイガラムシ類 <u>カキノヘタムシガ</u> カメムシ類	① 果実全体に薬液がよくかかるよう散布する。
月 日	9月 上中旬 (着色開始期前)	⑧ 展着剤(ハイテンパワー) モスピラン顆粒水溶剤 キノンドー顆粒水和剤 10mℓ 25g 100g	前日 14日前	3回 5回	500	炭疽病、うどんこ病 アザミウマ類 カキノヒメヨコバイ <u>カキノヘタムシガ</u> カメムシ類 カイガラムシ類	
月 日	特別散布 10月 上中旬	展着剤(ハイテンパワー) トップジン M 水和剤 10mℓ 100g	前日	6回	500	うどんこ病 炭疽病	① 条紋から発生する裂果・ヒビ割れ部への腐敗性病害の侵入対策として有効。条紋多発園で散布する。

- 落葉病・うどんこ病の防除のため、発生した園地の被害落葉は土中へ埋めるか、集めて焼却する。
- 越冬病害虫(ヘタムシ・カイガラムシ類等)の密度低下のため、冬期に粗皮削りを実施する。
- コウモリガによる食入加害の予防のため、根元は常に除草し、キレイにする。

当防除暦の複製・
コピーを禁止します

安全・安心な農産物生産のために 防除・使用基準を厳守しましょう

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル (D F) ⇒顆粒水和剤 (W D G) ⇒水和剤